

土と水と太陽と

つくし会で一緒に働きませんか

保護者・地域と共に半世紀

- ▶ 保育所が欲しい、そんな保護者の願いが出発点
- ▶ 1967年、社会福祉法人「つくし会」誕生

働くことと子どもの健やかな成長の両立を目指して

- ▶ 産休明け保育 制度のない頃から産後43日目の児童も受け入れ
- ▶ 勤務時間+通勤時間を保障するための長時間保育
- ▶ 差別・選別のない保育。障がい児を県内で初めて受け入れ

瀬田地域徒歩圏に3園

つくし保育園

2019年3月に新園舎完成
2019年4月より定員90名に増員

たんぽぽ保育園

2007年4月開園 定員90名

あおぞら保育園

2012年4月開園 定員100名

【つくし保育園】 …… 2019年3月に新園舎となりました

保育で大切にしたいことを沢山詰め込んだ設計です

○寝食分離の保育ができる保育室

- ① 1階 各クラス保育室（0歳児3室、1歳児2室、2歳児2室）
- ② 2階 各クラス保育室（3、4、5歳児）
食堂とプレイルームを一体で使用できる大ホール
南東側から採光がとれる明るい保育室

○子育て支援・障がい児保育・食育を大切にした保育室

- ③一時預かり保育室
- ④障がい児グループ保育、クッキング保育、会議室を兼ねた多目的保育室

○遊びを広げる園庭・屋上遊び場

- ⑤砂場や遊具を配置できる園庭スペース
- ⑥屋上を利用して、3歳児以上の遊び場と組み立てプールを設置



【たんぽぽ保育園】・・・ 園庭づくりのとりくみ

～～～「食は源 遊びはこやし」 大人も子どもも心の目を育てよう ～～～

ワクワクしながら迎えたたんぽぽ保育園の1年目。
大型遊戯と砂場・土管トンネルの築山がありました、
日影がなく燦々と陽のあたる園庭でした。

もっと色々な事、やってみたいな！
子どもも大人も初めてだらけの1年目、泥だんご
だけでなく、園庭をどんなふうにしてきたいのか？
職員みんなで「園庭会議」を積み重ね話し合っ
てきました。

あんなのもいいなあ～、こんなふうをしたいなあ～
会議を持つ中でできたのは、まずは、保育をして
いく中で子どもたちと遊びこめる園庭にしたいという
思いでした。



土管トンネルの築山と砂山



大型遊具

「みんなが集まれる場所にしたい」
「砂場と泥遊びができる場所が別々にほしい」
「日影になる木を植えたい」「木登りできる木がほしい」
「実がなる木もほしいね」
「大型遊具・たんぽぽハウスでごっこあそびもしたい」
などなど、話は尽きません。
天気のいい日には戸外に出かけ、自然と関わりながら
保育をする中で、園庭にも森や自然を再現し、子ども達に
とって魅力のある園庭にしよう！と進めていきました。



念願の釜戸も完成！！

10年間 園庭づくりをする中、第1期工事で植えた木々が茂り
はじめ木陰をつくり爽やかな風を感じられるようになりました。

木には実がなりはじめ、その季節になると子ども達は肌で感じ、
「そろそろだ！」と実が収穫できるのを楽しみにする姿もみられ
ます。

そして、念願の釜戸が完成した28年度、4月からは、みんなで釜戸を囲み園庭クッキングも楽しんでます。
完成した園庭では、どんな遊びを作り出して行けるのか！今後も楽しみで、ワクワクする園庭となりました。

<たんぽぽ保育園がめざす園庭>

- *遊ぶなかで身体の使い方を自然に学べる場所
- *冒険とスリリングな遊びができる場所
- *仲間と一緒に楽しめる場所
- *遊びを作りだせる場所
- *ほっこりできる場所



木々が茂り 完成した園庭

【あおぞら保育園】・・・病児保育のとりくみ

～～～ いざという時の子育ての強い味方 ～～～

開始6年を迎え、喜ばれる病児保育

保護者が就労している場合など、子どもが病気の際に自宅で保育をすることが困難な場合、こうした保育需要に対応するため、病気の子どもを一時的に保育する目的で、あおぞら保育園では、2014年度から定員3人/日の病児・病後児保育事業を開始しました。年々その需要は高まっており、開始6年目となる現在では、登録者数は600名を超え、年間延べ400人以上の方に利用して頂き、多くの方から「利用してよかった」「助かった」等のお声を頂いています。



個々の症状や体調に配慮しながら、 看護師とゆったり過ごします



増築し3部屋に、看護師を拡充

こうした中で、より多くの需要に応えるため、病児室を3部屋に、定員6人/日、看護師を拡充して、病児の受け入れを増やし保育を行っています。また、小学4年生まで、居住地に関係なく利用して頂けます。

地域に貢献できる存在に

核家族・共働き家庭が増える中、病気になった子どもの看護・保育を行ったり、適切なアドバイスや療養指導を行うこと、また保護者の就業を支援することで今後も地域に貢献できる存在となれるよう努力していきます。



こんな子に育てて欲しい 5つの保育目標

- ▶ ああでもないこうでもないと自分の頭で考えて行動できる子ども
- ▶ ああしてほしい、こうしてほしいと自分の要求がはっきり言え、他人の要求も聞ける子ども
- ▶ なんでもワシワシ食べる子ども
- ▶ 思いやりのある子ども
- ▶ 自然の中で元気いっぱいあそび込める子ども

つくし会、50年の経験を生かし、 豊かな保育を実践します

- ▶ 50年の中で培ってきた保育を土台に若い職員とともにみんなで考え合うことを大切にしています
- ▶ 子どもたちのよりよい生活の為、日々保育に取り組んでいます

仕事も子育ても 保育所で働く職員だからこそ両立 出来る環境を

- ▶ 法人内の他園に子どもを預けて働き続ける職員がいます。子どもがいても働き続けられる職場です。
- ▶ 働きやすい職場づくりをしています。

4月

▶ 新入園児を迎え新たな一年がスタート

- ・ 職員と在園児で入園・進級をお祝いします
- ・ 春の自然に触れる散歩へたくさん出かけます



5月

▶ こどもまつり

園児の健やかな成長を願って



6月

- ▶ 梅雨を吹き飛ばす どろんこ大会
- ▶ 感触遊び



7月

- ▶ 待ちに待ったプール遊び
- ▶ 5歳児が一泊の夏合宿に



8月

- ▶ プールで思いきり水に親しんで遊ぶ
- ▶ 4歳児 夜まで保育



9月

▶ 運動会にむけて
からだをいっぱい使って遊びこむ毎日



10月

- ▶ 元気いっぱい運動会
- ▶ 秋を満喫 お弁当もって園外に



11月

▶ 更け行く秋を楽しむ文化行事



12月

- ▶ 生活発表会
- ▶ 大人の出番 保護者劇
- ▶ サンタさんもプレゼントを持って登場



1月

- ▶ 獅子舞で新年がスタート
- ▶ 5歳児冬合宿は雪の中



2月

- ▶ 鬼って何？なんでくるのだろうか？
仲間の中で考える節分



3月

- ▶ 誇らしげな5歳児
- ▶ 保護者・職員で門出を祝う卒園式



子どもの育ちを共に喜び合う

- ▶子どものよりよい生活のために
協力し合う職員集団
- ▶子どもを真ん中に
保護者・職員がともに考え合える
関係に

あなたの力を是非つくし会に

ご清聴ありがとうございました

2020年5月

社会福祉法人つくし会